

産地戦略

実施期間 令和7～11年度

実施主体 山口県
都道府県 山口県
対象地域 山口県全域
対象品目 水稲



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
● 有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

- ・山口県では、耕地面積のうち水田面積の比率が8割と高く、中山間地域の7割を占め、農業算出額の3割を水稲が占めている。また基幹的農業従事者の平均年齢は72.3歳と、全国で最も高齢化が進んでいる。
- ・有機水稲栽培では、各農業者による点の取組が行われてきたが、体系的な技術が十分には確立できていないため面的な取組拡大には至っていない。また、作業時間では除草作業の占める割合が高く、取組を広げる上での大きな負担となっている。
- ・乗用型除草機と直進アシスト機能付き田植え機を組み合わせ、施肥と除草作業の省力化を図り、有機水稲栽培の取組面積拡大に資する。

現在の栽培体系

グリーンな栽培体系

栽培マニュアルに記載のとおり

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R6	目標R11	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	15,800	▶ 14,000	現状：作物統計調査令和6年産水稲の作付面積（主食用）より 目標：過去5年の平均より、年3%の減少と仮定
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	0.4	▶ 1	有機JAS適合＋側条施肥機対応の有機質肥料の利用面積
環境にやさしい栽培技術の取組面積（ha）	0.4	▶ 1	有機JAS適合＋側条施肥機対応の有機質肥料の利用面積
省力化に資する技術の取組面積（ha）	0.4	▶ 1	直進アシスト田植機＋乗用型水田除草機の利用面積

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境 省力	元肥、田植を別々に実施	▶ 有機JAS適合の有機質肥料＋側条施肥田植機の利用	元肥施肥の作業労力の低減
省力	一般的な田植機 後方に作業機がある機械除草機	▶ 直進アシスト機能付き側条施肥田植機 ＋除草作業が目視可能な除草機の組み合わせ	作業性の向上により欠株率が減少 雑草管理の省力化

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
省力	除草等に係る作業時間の削減率（％）	0	▶ 10	移植後の作業時間を削減

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

令和6年度までの検証結果を基に作成した栽培マニュアルを活用し、農業者を対象とした研修会等で技術を紹介するとともに、県とJA山口県等の関係機関が連携した啓発活動により、グリーンな栽培技術の普及や有機水稲の産地形成に向けた各地域の活動支援に取り組みます。

関係者の役割

関係者名	山口県（農業振興課・農林総合技術センター）	山口県（普及組織：農林水産事務所）	JA山口県	農業者
役割	県域でのグリーンな栽培体系の推進や啓発、技術指導等のコーディネート	各地域でのグリーンな栽培体系の推進や啓発（農業者からの相談対応、技術指導 等）	普及組織と連携した各地域でのグリーンな栽培体系の啓発	講習会等への参加 グリーンな栽培体系の実践

その他